

9日の長崎平和式典で田上富久長崎市長が読み上げた「平和宣言」(要旨)を紹介します。

88年前の今日、このまちの上空にアメリカの爆撃機が一発の原子爆弾を投下しました。24万人の市民のうち、7万4千人の方々が命を奪われました。生き残った被爆者は今もなお、白血病やがん発病への不安、深い心の傷を抱え続けています。



平和宣言を読み上げる田上富久長崎市長
19日、長崎市

日本政府に、被爆国としての原点に返ることを求めます。
今年4月、ジュネーブで開催された核不拡散条

約(NPT)再検討会議準備委員会が提出された核兵器の非人道性を訴える共同声明に、80カ国が賛同しました。南アフリカなどの提案国は、わが国にも賛同を求めました。しかし、日本政府は署名せず、世界の期待を裏切りました。人類はいかなる状況においても核兵器を使うべきではない、

8・9平和式典 長崎市長「平和宣言」(要旨)

約(NPT)再検討会議準備委員会が提出された核兵器の非人道性を訴える共同声明に、80カ国が賛同しました。南アフリカなどの提案国は、わが国にも賛同を求めました。しかし、日本政府は署名せず、世界の期待を裏切りました。人類はいかなる状況においても核兵器を使うべきではない、

一人ひとりにもできることがあります。若い世代の皆さん、あなた方は被爆者の声を直接聞くことができる最後の世代です。なぜ被爆者は未来のために身を削りながら核兵器廃絶を訴え続けるのか。被爆者の声に耳を傾けてみてください。そしてあなたが住む世界、あなたの子もたちが生きる未来に核兵器が存在していいのか。考えてみてください。あなたたちが未来なので



平和宣言が読み上げられ、ハトが放たれた長崎市主催の平和式典19日、長崎市長

「政府は、被爆国の原点に返れ」と 8月9日、田上長崎市長「宣言」

◎広島での長崎での平和式典がおこなわれました。核兵器の非人道性を訴える「共同声明」に世界の80カ国が賛同しました。しかし、日本政府はこれに賛同する署名をしなかったことから、核兵器の廃絶を願う世界の期待と、被爆者の方の命をかけての願いに持きました。

◎長崎市長は、この重大性を厳しく指摘するとともに、政府に被爆国としての原点に返ることを強く求めました。私は、長崎市長の「平和宣言」を支持します。読者の皆さん、全文と掲載したので、お読み下さい。

現を国のリーダーだけにまかせろのではなく、市民社会を構成する私たちが語り継ぐことが不可欠です。

◎清流とアユの名高い高知の四万十川ですが、連日40度と観測の報道にびっくりです。それ以外にも、全国どこでも猛暑の日々。どうしてこんなにも...と思われね。熱中症が心配です。「緊急通報のボタン」を押して、命を失いました。と、桐丘団地の複数の方からのお話がありました。◎お一人ぐらしの方も、お二人ぐらしの高齢の方も、ぜひ、緊急通報システムを

憲法の素を
まぎしませう
日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート
2013.8.15.No.1156
ご相談はお気軽に
TEL とも 3905-0970
FAX
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)
日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/



2013.8.13